

地域経済

製造・農業の新たな取り組みを追う



JA やつしろ

▲くし型に切ったトマトの内部を一つ一つ調べ、トレイに並べて干す準備をする



▲一つ一つ微妙に形の違うトマトを包丁で等分に切り、中身が固いものは取り除いていく



▲規格外品のトマトから傷のないものを選別する



▲「そのまま食べても濃い味でおいしいですよ」と話すトマト加工研究会の岩田美江子会長



▲トレイに並べたトマトを乾燥機に入れる

価値が70倍のドライトマト

JA やつしろでは減農薬のハウス栽培トマトを「はちべえトマト」として、冬から春にかけて2万トン出荷しているが、規格外品の食品加工を進める中、2007年度末からドライトマトの商品化に成功し、販路を拡大している。ドライトマトは生のトマト約4個分、一袋30gを630円で販売している。「国産品のドライトマトは珍しく、安心なので値段を気にせず買う人も多いですよ。今では新宿伊勢丹の定番商品になっています」と同JA。県内でも物産館や鶴屋、芦北のファーマーズマーケットなどにも出荷、新八代駅では新幹線土産になっている。5月13日には品質が評価され、第6回一村逸品大賞で金賞を受賞した。品質最優先の手作りのため年間の出荷量は350kgと少ないが、生のはちべえトマトが4キロ当たり1300円に比べ、ドライトマトのグラム当たりの価値は約70倍になり、付加価値はかなり高い。今では味の良さが知られるようになり、全国チェーンが仕入れに来るほどになっている。



熊本ワイン

▲ワインがきちんと入っているか目視検査を行う。地元産の巨峰を使ったワインが瓶詰めされていた



▲ブドウの収穫を行う製造部の幸山賢一さん。「菊鹿ナイトハーベスト」のブドウは糖度が最も高くなる夜中に収穫し、すぐ仕込むためブドウの新鮮さや香りを閉じ込めたワインができる



▲見学を終えてワインの試飲を楽しむ観光客ら。九州だけでなく韓国からの観光客も多い（工場内にはショップも併設）



▲観光客に人気がある赤ワインのキャンペーン・アーリー。甘くて渋みが少なく飲みやすいのが特徴

熊本でワイン文化を創出へ

今年で設立11年目を迎える熊本ワイン(株)(熊本市和泉町)は、県内で唯一の専門ワイナリー。設立当初から県産のブドウにこだわり、毎年130トンのブドウを仕込んでいく。ワインの生産本数は年間13万本に及ぶ。フードパル熊本にある同社の見学施設では、ガラス越しに醸造施設やセラーなどを見ることができ、試飲も可能で九州や韓国などを中心に、年間20万人の見学者が訪れている。同社の商品は昨年7月に東京で開催されたアジア最大のワインコンクール、ジャパン・ワイン・チャレンジ2009で「菊鹿ナイトハーベスト2008」が、白ワイン部門の最優秀賞を受賞。国内メーカーでは初の快挙となったほか、毎年のように各コンクールで上位に入賞している。これらの受賞をきっかけに関東や関西からの問い合わせが増加。県外のリピーターも多いという。同社では「将来的には熊本でワインが文化として根付くような位置づけにすることが目標です」と話している。

FACE くまもとを元気にする
淵上 宣生さん(71)
専修大学校友会熊本県支部 支部長
(事務局・玉名市岱明町、専大玉高内)
7月31日、鶴屋百貨店東館の宴会場で年に一度の同窓会を開催します。今年で57回目となりますが、最近では若い方の参加も増えてきました。一人でも多くの同窓生の参加をお待ちしております。

FACE くまもとを元気にする
岡田 孝史さん(34)
酒味処おか田 店主
(熊本市下通1丁目)
西銀座通り沿いのロフティ西銀座館の1階に居酒屋をオープンしました。河内町の塩屋漁港で水揚げされた魚介類を直接漁師から仕入れています。その季節ならではの旬の味をお客さまに楽しんでいただきたいと思います。

FACE くまもとを元気にする
尾島 隆志さん(35)
プリチストニスハウス熊本北 支配人
(合志市野々島)
8月3日にテニススクールをオープンします。1クラス8人までの少人数制のレッスンでレベル設定が細かく、段階的な指導を行います。そのため初心者からベテランまで満足して受講していただきたいと思います。

FACE くまもとを元気にする
春野 真奈美さん(38)
キュイール オーナー
(熊本市保田窪1丁目)
革小物や雑貨の店をオープンしました。工房を併設していて、インイシャルを入れたり、革のオーダーをすることもできます。雑貨は珍しいものも買やすい値段にしているので、自分用はもちろん、プレゼントにもお勧めです。

FACE くまもとを元気にする
野口 阿友さん
アンリップ 代表
(熊本市水道町)
美容室を移転オープンしました。高級感がある店内で、お客さまのプライベート感を演出しており、心地良い時間を過ごしていただけたと思います。ヘアケア商品も取りそろえているので、髪の悩みなど気軽にご相談ください。

FACE くまもとを元気にする
金宮 繁男さん(34)
ほえん 占い師
(熊本市春日1丁目)
占いの部屋を開いています。家庭や子どもの悩みから職場の悩み、人間関係に至るまでどんなことでも相談を受け付けます。それぞれの特性を生かしながらお客さまをより良い方向に導きたいです。

FACE くまもとを元気にする
田中 雅樹さん(39)
ボンジュール食堂 マネージャー
(熊本市上通町)
6月にフランスの家庭料理を中心とした飲食店をオープンしました。熊本県産の食材を使用することで、地域の活性化につながればと考えています。気軽に立ち寄れる大衆食堂を目指します。

FACE くまもとを元気にする
井手 義隆さん(61)
ホテル熊本テルサ 館長
(熊本市水前寺公園)
7月1日付で当ホテルに就任しました。これまでに培った人脈や経験を業務に反映させ、お客さま、従業員などの満足度アップを実現したいです。プライベートでは詩作や堤防釣りを楽んでいます。